

防災科学技術研究所の基本目標： **災害に強い社会の実現**

○評価軸(A):法人の使命、個別目標等に照らして十分な取組が行われ、成果が創出されているか

【科学的・技術的観点】

- 研究・開発の成果・取組の科学的・技術的意義は十分に大きなものであるか

【社会的観点】

- 成果・取組が防災・減災に係る活動(政策・制度を含む)に資するものか

【国際的観点】

- 成果・取組が国際的な水準に照らして意義があるものか

【時間的観点】

- 成果・取組が今後の発展の可能性があるものであるか
- 成果・取組が期待された時期に適切に実施されているか

【妥当性の観点】

- 成果・取組が国の方針や社会のニーズと適合しているか

○評価軸(B):適正、効果的かつ効率的な業務運営が行われているか

【長としての資質の観点】

- リーダーシップが発揮されているか

【体制の観点】

- 法人の長のマネジメントをサポートする仕組み、体制等が適切であるか

【適正性の観点】

- コンプライアンス体制は整備されているか
- 安全衛生及び職場環境への配慮が十分に図られているか
- 外部有識者を加えた体制で評価が行われているか

総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)の指針
(平成26年7月17日)で例示された評価軸を参考

○政策的観点からの評価軸

【イノベーションの観点】

- 国内外の大学、研究機関、自治体、民間事業者との連携・協力の取組が図られているか
- 社会の防災力向上に繋がる人材育成が適切に図られているか
- 関連業界、受講者等のニーズの変化を踏まえた取組を行っているか
- 将来のニーズ等を反映した研究テーマの設定が適切になされているか
- 知的財産権の取得・管理・活用は適切になされているか

【アウトリーチの観点】

- 研究・開発の成果・取組の価値を社会に向けて情報発信する取組を推進しているか
- 成果の社会実装につながる取組が図られているか

【人材の育成・支援の観点】

- 若手研究者に対する適切な支援の方策が図られているか
- 女性研究者、外国人研究者等の育成と活躍促進のための取組が推進されているか
- 研究者、技術者、研究開発マネジメント人材の育成、支援、キャリアパス展開等の取組が十分であるか

【研究環境充実の観点】

- 基盤となるデータの整備・充実等の取組が図られているか
- 防災科学技術の基盤となる観測・設備等の整備・充実が図られているか

【適正な体制の確保の観点】

- 研究不正に対応するための規定や組織としての責任体制の整備及び運用が適切になされているか

【その他】

- 災害発生の際に必要な対応がなされているか
- 国や自治体等に対して調査研究成果の普及と活用の促進を図ることができたか

国立研究開発法人防災科学技術研究所
平成26年度及び第3期中期目標期間中の業務実績に対する評価軸

参考資料3

【1-1~3】

- 成果・取組が防災・減災に係る活動(政策・制度を含む)に資するものか
- 成果・取組が国の方針や社会のニーズと適合しているか
- 基盤となるデータの整備・充実等の取組が図られているか
- 国内外の大学、研究機関、自治体、民間事業者との連携・協力の取組が図られているか
- 研究・開発の成果・取組の価値を社会に向けて情報発信する取組を推進しているか
- 研究・開発の成果・取組の科学的・技術的意義は十分に大きなものであるか
- 成果・取組が今後の発展の可能性のあるものであるか

【2-1:研究組織及び事業の見直し、外部からの研究評価】

- 法人の長のマネジメントをサポートする仕組み、体制等が適切であるか
- リーダーシップが発揮されているか

【2-2:外部機関との連携強化】

- 関連業界、受講者等のニーズの変化を踏まえた取組を行っているか
- 国内外の大学、研究機関、自治体、民間事業者との連携・協力の取組が図られているか

【3-1:コンプライアンスの推進】

- コンプライアンス体制は整備されているか
- 研究不正に対応するための規定や組織としての責任体制の整備及び運用が適切になされているか

【3-2:安全衛生及び職場環境への配慮】

- 安全衛生及び職場環境への配慮が十分に図られているか

【4-1:研究環境の整備】

- 若手研究者に対する適切な支援の方策が図られているか

【4-2:女性や外国人を含む優秀かつ多様な人材の確保】

- 女性研究者、外国人研究者等の育成と活躍促進のための取組が推進されているか

【4-3:職員の能力、職責及び実績の適切な評価】

- 研究者、技術者、研究開発マネジメント人材の育成、支援、キャリアパス展開等の取組が十分であるか

【2-1:基盤的観測網の整備・共用】

- 防災科学技術の基盤となる観測・設備等の整備・充実が図られているか
- 基盤となるデータの整備・充実等の取組が図られているか
- 国内外の大学、研究機関、自治体、民間事業者との連携・協力の取組が図られているか

【2-2:先端の実験施設の整備・共用】

- 防災科学技術の基盤となる観測・設備等の整備・充実が図られているか
- 国内外の大学、研究機関、自治体、民間事業者との連携・協力の取組が図られているか

【2-3:人材育成】

- 社会の防災力向上に繋がる人材育成が適切に図られているか
- 関連業界、受講者等のニーズの変化を踏まえた取組を行っているか

【2-4:基礎的研究成果の橋渡し】

- 将来のニーズを反映した研究テーマの設定が適切になされているか
- 外部有識者を加えた体制で評価が行われているか

【3:防災に関する研究開発の国際的な展開】

- 基盤となるデータの整備・充実等の取組が図られているか
- 成果・取組が国際的な水準に照らして意義があるものか

【4-1:研究成果の普及・活用促進及び国民への周知】

- 研究・開発の成果・取組の価値を社会に向けて情報発信する取組を推進しているか
- 成果の社会実装につながる取組が図られているか

【4-2:知的財産戦略の推進】

- 知的財産権の取得・管理・活用は適切になされているか

【5-1:災害発生の際に必要な措置への対応】

- 災害発生の際に必要な対応がなされているか
- 成果・取組が期待された時期に適切に実施されているか

【5-2:国及び地方公共団体の活動への貢献】

- 国や自治体等に対して調査研究成果の普及と活用の促進を図ることができたか